

沖縄県発達障害者支援センター事業 市町村発達障害者支援体制サポート事業の R3年度の実績概要および R4年度の取組み（事業計画案）について

本資料について：

第3期沖縄県発達障害者支援体制整備計画の8つの重点課題に基づき沖縄県発達障害者支援センター運営事業と市町村発達障害者支援体制サポート事業を一体的に実施している。本資料は、令和3年度の実績（1～3月は見込み）及び令和4年度の取組み案について、重点課題ごとに整理し概要をまとめた。

特定のライフステージごとの課題と取組

課題1：乳幼児期における早期発見・早期支援

【課題および取組の方向性】

身近な地域において、乳幼児健診から早期支援につなげる体制づくり

- ア. 乳幼児健診の受診率等の向上
- イ. 要フォロー率の精度向上
- ウ. 乳幼児健診後の支援体制の整備

【県が実施する主な取組み】

- ・発達障害特有のアセスメントツールの普及
- ・乳幼児健診に関わる職種への研修
- ・保育士を対象とした研修
- ・児童発達支援事業所等への研修
- ・障害児等療育支援事業の実施

【R3年度の実績（概要）】

- ① 県地域保健課・小児保健協会と協働した乳幼児健診従事者等向け研修会（講師：中川信子氏）の実施
- ② 「市町村乳幼児健診事後教室実施状況およびフォロー事業に関する調査」の実施（2月予定）
- ③ 市町村等の支援体制充実に向けた取組み：「支援の繋ぎについて考える研修会」（講師：本田秀夫氏）の開催（10/29）
- ④ 児童発達支援事業所職員等向けオンライン研修会の実施（7/31 沖縄通との共催研修）
- ⑤ 早期発達支援機関への機関コンサルテーションおよび講師派遣の実施
- ⑥ 認可外保育施設等への支援を通じた実態について県関係課等と共有し、課題解決に向けて検討を試みる。

【R4年度の取組み（予定含む）】

- ① 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」の結果（現状と課題等）について、市町村母子保健、保育、児童福祉主幹課等へフィードバックを行い、市町村の支援体制整備への活用促進を図る。
- ② 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」の結果（現状と課題等）について、県関係課等と共有し、課題解決に向けた取組みを検討する。
- ③ 子育て支援機関等へのペアレントプログラムの普及啓発ならびに立ち上げ支援の実施
- ④ 児童発達支援事業所職員等向け研修会の実施（沖縄県発達支援通園事業連絡協議会との共催）
- ⑤ 市町村乳幼児健診事後フォロー事業ならびに早期発達支援機関へのコンサルテーション・講師派遣の実施
- ⑥ 乳幼児健診従事者等向け研修会の継続実施
- ⑦ 「市町村乳幼児健診事後教室実施状況およびフォロー事業に関する調査」の実施

○ 計画期間：2019年度～2024年度まで（5年間）

○ 実施事業の中で、数値目標を設定

○ 基本方針：

- (1) ライフステージを通じた切れ目のない支援 (2) 家族なども含めた、きめ細かな支援家族など (3) 地域の身近な場所で受けられる支援

1

第3期計画・重点課題

重点課題のイメージ図

特定のライフステージごとの課題と取組

(1) 乳幼児期における早期発見・早期支援

- ア. 乳幼児健診受診率
- イ. 要フォロー率の精度向上
- ウ. 検診後支援体制の整備

(2) 学齢期における教育と福祉の連携

- ア. 教育と福祉の連携
- イ. 施策・事業等の相互理解

(3) 成人期における就労支援

- ア. 就労支援者の資質向上
- イ. 事業主への支援の充実
- ウ. 就労に繋がらない方への支援



2

通じたライフステージごとの課題と取組

(1) 専門医療機関の不足への対応

(2) 保護者や家族に対する支援

(3) 各分野における支援人材の育成

(4) 移行期の「支援の途切れ」防止

(5) 県民に対する正しい理解の普及啓発

特定のライフステージごとの課題と取組

課題2：学齢期における教育と福祉の連携

【課題および取組の方向性】

教育と福祉の定期的な情報共有の場や支援方針の共有化のための連携の場作り

- ア. 教育と福祉の連携について
- イ. 施策・事業等への相互理解

【県が実施する主な取組み】

- ・沖縄県特別支援教育総合推進整備事業運営協議会の開催
- ・教職員等に対する障害福祉サービス等の周知および研修の実施
- ・発達障害者支援センターによる教育機関等への講師派遣
- ・障害福祉の支援者等に対する教育施策・事業の周知等

【R3年度の実績（概要）】

- ① 県内小中学校等へ発達障害支援ガイドブック『ABCD仮説くん』の配布および活用促進の動画作成
- ② 県総合教育センター、中頭教育事務所、それぞれと協働作成した「シラバス」に基づく悉皆研修への協力
- ③ 教育と福祉の連携を促進するため、中部圏域障害者自立支援連絡会「療育教育部会」において、県内の実践報告（沖縄市とうるま市のトライアングルプロジェクトの取組等）を取り入れた研修会を実施
- ④ 特別支援教育関連会議および県・圏域・市町村自立支援協議会等への参加を通じた連携

【R4年度の取組み（予定含む）】

- ① 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」の結果（現状と課題等）について、市町村教育委員会等へフィードバックを行い、市町村の支援体制整備への活用促進を図る。
- ② 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」の結果（現状と課題等）について、県関係課等と共有し、課題解決に向けた取組みを検討する。（再掲：課題1）
- ③ 中頭教育事務所と協働作成した「シラバス」に基づく悉皆研修への協力および他教育事務所への波及
- ④ 発達障害支援ガイドブック『ABCD仮説くん』活用促進動画の普及およびそれらを活用した講師派遣等
- ⑤ トライアングルプロジェクト（教育と福祉と家庭の連携）の更なる促進に向けた取組みを検討
- ⑥ 各地区教育事務所専門家チームおよび巡回アドバイザーとの協働支援
- ⑦ 特別支援教育関連会議および県・圏域・市町村自立支援協議会等への参加
- ⑧ 県総合教育センターとの共催による『緘黙』に関する支援者向け研修会の開催

課題3：成人期における就労支援

【 課題および取組の方向性 】

事業主や支援者への個々の発達障害への理解、発達障害と気づかないまま就労に繋がらない方への支援の充実

- ア. 就労支援者の資質向上
- イ. 事業主の配慮等に関する支援
- ウ. 就労に繋がらない方等への支援

【 県が実施する主な取り組み 】

- ・就労支援事業所等に対する発達障害特性等の研修実施
- ・地域支援マネージャーによる事業所支援
- ・ひきこもり専門支援センターとの連携強化
- ・障害者就業・生活支援センター、パーソナルサポートセンター等との連携強化

【 R3年度の実績（概要） 】

- ① 地域における発達障害成人期の「余暇活動」を考える研修会（講師：吉川徹氏）の実施
- ② 障害者就業・生活支援センター等と連携し、就労支援関係者等へ「卒業後・就労支援に活かすアセスメントBWAP2研修」を実施
- ③ 大学との連携に向けた取組み（各大学障がい学生支援担当部署との情報交換会を通じた実態把握等）
- ④ 精神保健福祉センター及びひきこもり専門支援センターとの情報交換および事例検討会の実施
- ⑤ 県立高校職員および専修学校等への講師派遣の際、就労及び生活支援を見据えた視点の発信
- ⑥ 産業界および人事担当者向け研修等への講師派遣

【 R4年度の取組み（予定含む） 】

- ① 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」の結果（現状と課題等）について、市町村障害福祉課等へフィードバックを行い、市町村の支援体制整備への活用促進を図る。
- ② 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」の結果（現状と課題等）について、県関係課等と共有し、課題解決に向けた取組みを検討する。（再掲：課題1）
- ③ 障害者就業・生活支援センター等と連携し、市町村等におけるBWAP2の活用促進に向けた取組み
- ④ 大学との連携に向けた取組み（卒業後の就労・生活支援等に関する情報発信の機会を模索）
- ⑤ 県立高校職員および専修学校等への講師派遣の際、就労及び生活支援を見据えた視点の発信
- ⑥ 当センター連絡協議会「成人部会」にて「医療と就労の連携について」協議できるよう調整

課題4：専門医療機関の不足への対応

【 課題および取組の方向性 】

専門医療機関の不足による、診察待ちの長期化への対策

- ア. 専門医療機関の確保
- イ. 医療ネットワーク体制の整備
- ウ. 行政手続きの再点検・見直し

【 県が実施する主な取り組み 】

- ・「沖縄県発達障がい児（者）支援に関わる医療機関リスト」の周知・配布
- ・医療機関従事者向けの研修
- ・かかりつけ発達障害者対応力向上研修事業の実施
- ・子どもの心の診療ネットワーク事業の実施
- ・診断書を必要とする行政手続きの再点検・見直し及び周知等

【 R3年度の実績（概要） 】

- ① 「沖縄県発達障がい児（者）の診療等を行っている医療機関リスト」の更新（項目追加）及び周知・配布
- ② 上記の医療機関リスト更新作業と合わせて医療現場の現状および課題把握（特に宮古・八重山圏域）を行い、関係機関と共有を図る。
- ③ 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」において、診断書を必要とする行政手続きに関する設問を追加し、実態把握のための基礎資料を作成。
- ④ 子どもの心の診療ネットワーク事業等との連携強化（医療機関の待機問題解消に向けた取組検討等を行う）
- ⑤ 医療機関の実施する研修への講師派遣（かかりつけ医等発達障害者対応力向上研修事業への協力含む）
- ⑥ 医療機関（小児科、心療内科、精神科 350機関）へ「新サポートノートえいびる」等を郵送し、更なる周知を図る。

【 R4年度の取組み（予定含む） 】

- ① 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」及びR3年度実施した医療機関等へのアンケート調査の結果（現状と課題等）について、引き続き県関係課等と共有し、課題解決に向けた取組みを検討する。
- ② 子どもの心の診療ネットワーク事業等との連携強化（医療機関の待機問題解消に向けた取組検討等を行う）
- ③ 医療機関の実施する研修への講師派遣（かかりつけ医等発達障害者対応力向上研修事業への協力含む）
- ④ 当センター連絡協議会「成人部会」にて「医療と就労の連携について」検討（再掲：課題3）

課題5：保護者や家族に対する支援

【 課題および取組の方向性 】

虐待防止の観点から、当事者や家族が集える場の確保や、保護者等への支援の充実を図る

- ア. ペアレント・トレーニングの普及
- イ. ペアレント・プログラムの普及
- ウ. 身近な地域における相談窓口の周知等

【 県が実施する主な取り組み 】

- ・ペアレントトレーニング講師の養成・派遣と実施体制の助言等
- ・ペアレントプログラム講師の養成・派遣と実施体制の助言等
- ・当事者会や親の会に関するリストの作成および情報
- ・相談支援体制の構築、拡充に関する支援・助言

【 R3年度の実績（概要） 】

- ① ペアレントプログラム普及に向けた取組みの継続（研修型プログラム、実施者へのSV、連絡会の開催等）
- ② 親の会・成人当事者団体等との懇話会の開催および活動への協力（団体の交流を更に深めるための場の提供等）
- ③ ホームページ等を活用した発達障害支援に関する情報発信および啓発（マスクつけられませんバッチの配布、新型コロナウイルスワクチン接種に関連するツール等の周知 等）
- ④ 「発達障がいに関わる 親の会・成人当事者団体等リスト」の更新および配布
- ⑤ 保護者や当事者に対する情報提供の機会の一つとして、動画ライブラリを運用開始（7月～）

【 R4年度の取組み（予定含む） 】

- ① 一般の子育て支援に従事する支援者向け（母子保健・保育機関等）へのペアレントプログラム普及に向けた取組み
- ① 親の会・成人当事者団体等との懇話会の開催および活動への協力
- ② 「家族支援」をテーマにした支援者向け研修会の予定
- ③ ホームページ等を活用した発達障害支援に関する情報発信および啓発
- ④ 「発達障がいに関わる 親の会・成人当事者団体等リスト」の更新および配布
- ⑤ 保護者や当事者に対する情報提供の機会の一つとして、動画ライブラリの充実を図る。
- ⑥ 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」の結果（現状と課題等）等をもとに県内におけるペアレントメンター事業の展開について関係機関と協議を図る。

課題6：各分野における支援人材の育成

【 課題および取組の方向性 】

日常生活の様々な場面における発達障害の特性理解および対応の充実

- ア. 各分野における研修等の実施
- イ. 各圏域における研修の実施
- ウ. 市町村相談窓口の充実

【 県が実施する主な取り組み 】

- ・発達障害者支援センターによる各分野への研修及び講師派遣
- ・各分野との研修企画等の連携
- ・各圏域福祉事務所による「発達障害圏域別研修」の実施
- ・市町村窓口職員への研修の実施
- ・地域支援マネージャーによる市町村支援

【 R3年度の実績（概要） 】

- ① 動画ライブラリの運用（7月～）及びコンテンツの充実（発達障害研修動画プログラムや過去の主催研修動画の配信等）を図る。
- ② 市町村職員向け発達障害関係研修の企画及び講師派遣（YouTube配信 8/30-10/15）
- ③ 発達障害支援ガイドブック『ABCD仮説くん』活用促進動画を作成し、学齢期支援者の更なる資質向上を図る。
- ④ 県総合教育センター、中頭教育事務所、それぞれと協働作成した「シラバス」に基づく悉皆研修への協力
- ⑤ 各分野の主要機関等と協同企画のもと研修実施（11/22 乳幼児健診従事者研修、7/31沖通連との共催等）
- ⑥ 各福祉事務所（宮古・八重山・中部）と発達障害圏域別研修の共催
- ⑦ 講師派遣による各分野への研修および機関コンサルテーションの実施（警察学校から初依頼）

【 R4年度の取組み（予定含む） 】

- ① 動画ライブラリのコンテンツの充実（発達障害研修動画プログラムや過去の主催研修動画の配信等）および活用促進を図る。
- ② 中頭教育事務所と協働作成した「シラバス」に基づく悉皆研修への協力および他教育事務所への波及（再掲：課題2）
- ③ 「ABCD仮説くん」及び「新サポートノートえいびる」活用促進動画の普及およびそれらを活用した講師派遣
- ④ 市町村職員向け発達障害関係研修の継続実施
- ⑤ 各分野の主要機関等（各福祉事務所の発達障害圏域別研修含む）と協同企画のもと研修実施
- ⑥ 講師派遣による各分野への研修および機関コンサルテーションの実施

課題7：移行期の「支援の途切れ」防止

【 課題および取組の方向性 】

ライフステージを通じた一貫性のある切れ目ない支援が続くための取組の充実・確立

- ア. 各分野の連携または協議の場の設置
- イ. 「新サポートノートえいぶる」の普及

【 県が実施する主な取組み 】

- ・沖縄県発達障害児（者）支援機関連絡会議の開催
- ・沖縄県発達障害者支援センター連絡協議会の開催
- ・沖縄県発達障害者支援体制整備委員会
- ・新サポートノートえいぶるの普及・啓発
- ・新サポートノートえいぶるの活用方法の情報提供や説明会の実施

【 R3年度の実績（概要） 】

- ① 「新サポートノートえいぶる」作成補助用の動画作成及びそれらを活用した研修会の開催
- ② 各分野での研修内容に「発達障害と繋ぎの支援」を組み入れ、移行支援の啓発を強化
- ③ 市町村等の支援体制充実に向けた取組み：「支援の繋ぎについて考える研修会」の開催（再掲；課題1）
- ④ 教育と福祉の連携を促進するため、中部圏域障害者自立支援連絡会「療育教育部会」において、県内のトライアングルプロジェクト実践報告を取り入れた研修会を実施（再掲；課題2）
- ⑤ 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」において、義務教育卒業後の実態ならびに移行支援の課題に関する設問を追加して実施。県関係課等と共有し取組の検討を図る。
- ⑥ 医療機関（小児科、心療内科、精神科 350機関）へ「新サポートノートえいぶる」等を郵送し、更なる周知を図る。（再掲；課題4）

【 R4年度の取組み（予定含む） 】

- ① 「市町村発達障害児者支援体制整備状況に関する実態調査」の結果（特に、移行支援の課題等を中心に）について、市町村および県関係課等と共有し、課題解決に向けた取組の検討を図る。
- ② 地域診断ツール（Q-SACCS）の活用促進等を通じた市町村等の支援体制整備に取り組む。
- ③ 各分野での研修内容に「発達障害と繋ぎの支援」を組み入れ、移行支援の啓発を強化
- ④ 県関係課等との連携のもと、教育と福祉と家庭との連携（トライアングルプロジェクト）を促進する。
- ⑤ 「新サポートノートえいぶる」作成補助動画の活用促進（県療育教育部会等を通じた周知の強化）
- ⑥ 「新サポートノートえいぶる」活用促進に向けた検討（モニター調査協力自治体との調整含む）

9

課題8：県民に対する正しい理解の普及

【 課題および取組の方向性 】

個々の発達障害の特性について、引き続き一般県民に対する普及・啓発活動に取り組み必要がある

- ア. 個々の特性に対する正しい理解
- イ. 個々の特性に応じた対応の周知

【 県が実施する主な取組み 】

- ・発達障害者支援センターのホームページ等を活用した情報発信
- ・個々の発達障害に関する啓発パンフレットの作成及び配布
- ・世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間での普及・啓発活動
- ・市町村の普及・啓発活動事例の紹介

【 R3年度の実績（概要） 】

- ① 「世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間」に関する取組み（県自閉症協会等との共催で「バスの乗車体験イベント」実施、各圏域での取組み推奨、市町村の後方支援）および啓発パンフレット等の配布
- ② 公共交通機関（バス、タクシー、モノレール等）への啓発（沖縄バス協会への講師派遣等）および取組への協力要請
- ③ 発達障害支援に関する啓発シリーズ動画（仮称）の作成およびインターネット上で公開予定（3月末予定）
- ④ ホームページ等を活用した発達障害支援に関する情報発信および啓発（マスクつけられませんバッチの配布、新型コロナウイルスワクチン接種に関連するツール等の周知等）（再掲；課題5）
- ④ 動画ライブラリの運用（7月～）及びコンテンツの充実を図る。（再掲；課題6）
- ⑤ 『ABCD仮説くん』及び「新サポートノートえいぶる」活用促進動画の作成（再掲；課題6）

【 R4年度の取組み（予定含む） 】

- ① 「世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間」に関する取組み（各圏域での取組み推奨、市町村の後方支援）および啓発グッズ・パンフレット等の配布
- ② 発達障害支援に関する啓発シリーズ動画（仮称）の積極的な周知
- ③ ホームページ等を活用した発達障害支援に関する情報発信および啓発（再掲；課題5）
- ④ 動画ライブラリの運用（7月～）及びコンテンツの充実を図る。（再掲；課題6）
- ⑤ 『ABCD仮説くん』及び「新サポートノートえいぶる」活用促進動画の普及およびそれらを活用した講師派遣（再掲；課題6）

10